

## 校友会活動ビジョン

### ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。  
応援しよう、個のかがやきを。

### 行動指針

未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。  
多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。  
循環型支援の立命文化を創る。  
グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。  
立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

りつめい No.289 / 2022年12月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年3回発行  
発行人 / 村上健治  
編集人 / 森川典子  
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1  
Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217  
URL: <https://alumni.ritsumei.jp/>  
E-mail: [alumni@st.ritsumei.ac.jp](mailto:alumni@st.ritsumei.ac.jp)

ご連絡先の変更はこちらから▶



# りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

輝くひと

Facebook Japan  
代表取締役

味澤 将宏さん  
(’94経営)

巻頭特集

# テクノロジーで 新しい価値を生み出す

# 人と人の新しいつながりが 社会を変えていく

「仕事は、好きなこと、興味のあることを選ぶ。そこで生じるパワーは、きっとすごいものがあるから」

「苦学生だった」学生時代は、八瀬の山の中に一軒家を安く借り、猫と暮らしながらバイクで大学に通った。真面目に授業に出る学生ではなかったというが、「マーケティングと文化人類学の授業は面白かった。卒業論文は、『ブランディングと経営』について書いた覚えがある」と当時を振り返る。大学以外はアルバイトに明け暮れる日々。木屋町のシャンパン・バー「ル・ピエ・ノワール」では、個性豊かな大人たちから刺激を受けた。アルバイト中に触れたMacクラシック2がコンピューターとの出会いだった。

卒業後、一度は建築家を志すも「才能が全くなかった」。飛び込んだのはマーケティングの世界。最初に就職した広告代理店で、海外の大手自動車会社初のWebサイト立ち上げを担当、「危機」から多くを学んだ。その後、マイクロソフト、Twitter、そしてFacebook(現・Meta)へ。『『情報が民主化』されている人類史上なかった時代を私たちは生きています。Web1.0からWeb3.0といわれる変革の先端で、人のつながりを生かしながら次の時代の人のつながりをつくることは、とても刺激的です」

若い頃から二つの軸が自分の中にあったという。それが「インターネット」と「インターナショナル」。「だからどのキャリアもつながっているし、興味のあることを続けられている。感謝しています」

今目指すのは、注力しているInstagramとメタバースで社会変革に貢献すること。「コロナ禍で誰も気付いたのは、離れていてもつながることの大切さ。メタバースでは離れていても同じ『空間』でつながることができるようになります。それによって、コミュニケーションも、ビジネスや働き方も、教育も変わっていきます」

高校時代はラグビーに熱中し、今もチームで仕事することがとても好きだと言う味澤さん。「いろいろな個性が混じり合っ、一つのチームになった時に生じるパワーみたいなものに魅かれます」

趣味のサーフィンが縁で始めた地元の海の環境を守る活動、そして故郷・福島県の復興支援など、プライベートでもコミュニティへの貢献を続けていく。



Facebook Japan  
代表取締役

あじきわ まさひろ  
味澤 将宏さん  
(’94 経営)

輝くひと  
119

## ■ PROFILE

福島県出身。立命館大学卒業後、2000年オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン合同会社入社。2008年から日本マイクロソフト株式会社にてPCおよびモバイルディスプレイ広告ビジネスを統括。2012年、Twitter Japanに入社。2016年より上級執行役員 広告事業担当本部長および日本・東アジア地域事業開発担当本部長を兼任。2020年、Facebook Japan代表取締役役に就任。

立命館大学校友会報

りつめい DECEMBER 2022  
No. 289

## 03 巻頭特集

# テクノロジーで新しい価値を生み出す

## 02 輝くひと

Facebook Japan 代表取締役  
味澤 将宏さん

## 08 RITSUMEI INTERVIEW

チームラボ株式会社 カタリスト  
オム ジョンスクさん

## 12 立命館ファミリー

## 14 つながる、ひろがる 校友会

～各校友会の取り組み～  
校友会ネットワーク

## 15 立命館オンラインセミナーのご案内

## 16 オール立命館校友の集い2022 開催報告

26 3.11復興への願い/  
会報と大学・校友会の最新ニュースを  
メールでお届けします!

## Present

アンケートにご協力いただいた方に抽選でプレゼント  
をお贈りします!



## 27 校友会 TOPICS

## 28 学生の活躍

## 29 キャンパスピックアップ

## 30 INFORMATION 編集室から

掲載内容は2022年10月時点のものです。(一部特記箇所を除く)  
デザイン・ディライツ広告事務所

| 巻頭特集 |

# テクノロジーで 新しい価値を 生み出す

仮想空間で新たなつながりが生まれたり、  
AIには不可能とされてきた課題を解決できるようになったり、  
デジタルテクノロジーの進展によって、  
世界は驚くほどのスピードで変化を遂げている。  
今回はそうしたデジタルテクノロジーの最先端で、  
世界に新たな価値を生み出している校友を紹介する。

撮影：P4-5 岡田 一也、P6-7 Jaroslav Olejar

2022年6月、「まとめる、書く、読む、話す」といった高度な知的作業を人間並みに実現する日本語AIが登場し、世間を驚かせた。「大規模言語AI イライザ」は、キーワードを入力するだけで自然で流ちょうな文章を自動で作成したり、ニュースやレポートなどの読解力を要する文章を読んだり要約したりできる。開発したのは、AIベンチャー企業の株式会社ELYZA(イライザ)。2022年4月、野口竜司さんはELYZAの取締役CMOに就任した。目の前に訪れたチャンスを実に掴み、そこに自らを投資する。野口さんが切り開いてきたキャリアには、大学時代の出会いや経験が色濃く反映されている。

「文系・理系といった学問分野に縛られず、学びたいこと全てを学ぶと決めていた」という野口さんが選んだのは、開設もない政策科学部だった。「特に良かったのが、ケーススタディーを通じて課題を発見し、それを解決する力を磨けたことです。ビジネスでは課題があって当たり前。それを解決するために動くという思考を身に付けられたから、仕事で困難にぶつかって踏ん張ることは何度もありましたが、それを苦しく感じることはなかったです」。普及し始めたばかりのインターネットに触れたのもこの頃だ。「ゲーム理論」を用いてマーケティングを研究するゼミに所属し、コンピューターを使って人の行動を予測するなど現在のAIにつながる技術を学んだ。

何より刺激を受けたのが、友人たちの存在だった。「政策科学部には、新しいことに目をキラキラ輝かせてチャレンジする人が全国から数多く集まっていました。先例にとられず、自分の信じた道を自由に突き進む友人たちの姿に、本当にやりたいことを見つけ、自分でルールを敷いて歩いていいんだと勇気づけられました」。3回生の時、ソニーミュージック主催のデジタルアートのコンテストで入賞したことを機にデジタルアーティストとして活動。その後、創業もない京都発ITベンチャーの株式会社イー・エージェンシーに誘われ、在学中から働き始めた。同社に勤めた19年間、eコマースやレコメンドエンジンなどAIを活用した数々の新規事業の責任者から子会社の代表取締役社長まで、その時々自分が求められている役割を引き受け、多種多様な仕事を経験した。新しい技術を知り、活用する喜びを感じながら、著しい進化を遂げるAI活用分野で力を発揮してきた。

転職は2019年、大学の後輩で株式会社ZOZOテクノロジー(現・ZOZO NEXT)の代表を務めていた金山裕樹さんから誘われたことだった。「もっと巨大なマーケットで『データ活用』を行い、良い意味で社会に波風を立てたい」

と、転職。購買データを用いた顧客の購買行動の分析や、新たな予測AIの開発などに携わった。「AIを活用して大多数の消費者とインタラクションし、消費者の行動に変化をもたらす。そんな仕事に思いきり打ち込み、『データ活用』によって社会に影響を与える手応えを感じた体験は、大きな資産になりました」

一方でAIを使って仕事をしながら強く感じていたのが、「AIを活用する人材」の必要性だ。「AIを社会に実装していくためには、AIをつくる人材とAIを使いこなす人材の両方が必要です。AI技術の進化は加速しているにもかかわらず、それを活用する人材はまだまだ足りません。理由の一つは、AIの『使い方』を学べる教材がないことです。私自身も教材がなくて困ったことから、独学で蓄積した知識を皆さんに提供しようと思いました。「文理融合のAI人材の育成」を自ら発起して、社内に学習コミュニティを立ち上げ、Zホールディングス内で800名に及ぶ社員にAI活用教育を実施した。

そして今、ELYZAでは、これまで以上に「AIを社会実装する」ことに軸足を置いている。「機械にはできないといわれてきた高度な知的業務をAIが行えるようになることで、一人ひとりの生産性が向上し、ひいてはGDP向上にもつながると考えています」と言及した野口さん。その半面、AIが人間の知能をしのぐ未来に、人の活躍する余地はあるのかと自問することもある。「人間の専売特許だと思われていた高い知性が機械として生まれ、人の横に並んで仕事や生活をするようになる。世界が変わると思わざるを得ません。そうした世界では、文系・理系に関係なく全ての学部・学問領域でAIの学びが必須です。自分の専門領域を学びながら、そこにAIを掛け合わせたら、どのような変化を生み出せるのか、ぜひ自分ごととして考えてほしいと思っています」と語る。

「新しい技術が出てきた時に重要なのは、すごいところを認めてそれを知り、使いこなすこと。子どもたちの未来のために、人間を超えるAIを前に燃え尽きてしまうのではなく、『活用したい』という意欲の火をともしことも私の役割だと思っています」。後に続くAI活用人材の育成に、新たな情熱を燃やしている。

#### PROFILE

福岡県出身。2000年、立命館大学4回生の時に株式会社イー・エージェンシーに入社。同社取締役、子会社の代表取締役社長などを歴任。2019年、株式会社ZOZOテクノロジー(現・株式会社ZOZO NEXT)入社。取締役CAIQ、Zホールディングス株式会社の「Z AIアカデミア」幹事を経て2022年4月、株式会社ELYZA 取締役CMOに就任。著書に『文系AI人材になる統計・プログラム知識は不要』(東洋経済新報社、2020)がある。

人とAIが共に  
活躍できる未来をつくる。

のぐちりゅうじ  
株式会社ELYZA 取締役CMO 野口 竜司さん('01政策)



パソコン、スマートフォン、スマートウォッチなど、世界中で愛されるデジタル製品を生み出しているアップル。峯村涼子さんは同社が運営するアプリケーションソフトの配信サービス「App Store<sup>※</sup>」等のサーチアナリストとして働いている。アメリカ本社で、このポストに就く日本人は峯村さんただ一人だ。「プレッシャーはとてつもなく大きいけれど、それだけ価値ある存在だと認められることが、やりがいでもあります」と語る。「好奇心の塊で、新しいことにチャレンジする意欲は人一倍ありました」と振り返った峯村さん。そのバイタリティーで道を切り開いてきた。

高校時代の夢は、国際公務員がジャーナリストになって世界の平和に貢献すること。そのために「絶対に学びたい」と志望したのが、立命館大学国際関係学部だった。大学では取れる授業は全て履修し、いつも一番前の席で食い入るように聴講した。とりわけ熱心に学んだのが、関寛治教授(当時)の「シミュレーション・ゲーミング」の授業だった。「学生がそれぞれ国の代表に扮し、ロールプレイングで国際政治や外交を疑似体験します。自分の国や相手国について調べた情報をもとに、交渉したり議論を戦わせながら、平和な決着を目指します。実践を通じて国際政治学の知識を身につけたことはもちろん、リサーチ力やディベート力、交渉力など、今につながる力が鍛えられました」。4回生でアメリカのピッツバーグ大学に留学。国際公務員を数多く輩出する大学で、各国から派遣された学生も多く学んでいる。そうした学生とともに学び、ディベートもプレゼンテーションも太刀打ちできないことを痛感したという。「国際舞台で働きたいなら、このままではだめだ」。そう思い、大学卒業後に再び渡米し、ピッツバーグ大学の大学院に進学した。

それまでいちずに国際公務員を目指してきた峯村さんだったが、大学院で学ぶ中で、次第に別の方法で世界に貢献する道を考えるようになる。大学院修了後、培った知識やスキルをビジネスの世界で生かそうと、「力試しのつもりで」世界的な先進企業が集積するシリコンバレーへ向かった。

日系の大手電機メーカーに就職し、約7年間、戦略企画や内部監査などの業務に携わった後、「もっと自分が働く価値を感じられる仕事をしたい」と転職を模索する。その時に出会ったのが、アップルだった。とりわけ峯村さんの心を捉えたのは、創業者の一人であるスティーブ・ジョブズが提示した“Think Different”という一節だ。「日本やアメリカ、あるいは他の国から見える世界や求める幸せは全然違います。そうした多様な視点を認めながら世界を変え

るという考え方に共感しました。この会社ならデジタル製品をつくるだけにとどまらないことに挑戦できる。そんな可能性を感じました」

難関を突破し、最初に配属されたのは、「App Store」の立ち上げチームだった。前職での内部監査の経験・スキルを買われて担当したのは、アプリ開発企業が提供するアプリケーションを審査し、採用の可否を判断する業務。「世界初のサービスを世に送り出すため、それまで世界になかった新しい職業に飛び込んだ気持ちでした」。その後ステップアップを試み、社内試験を経て獲得したのが今のポジションだ。

ユーザーが検索ボックスに文字を入力した時、探したい商品群が適切な優先順位で表示されるよう、検索エンジンは改変し続けられている。どのような商品が人気を集め、どのようなワードが頻繁に検索されるかは、国や時流によって変わる。ユーザーの検索結果を分析し、それに基づいてプログラマーにアルゴリズムの修正を指示し、検索エンジンをブラッシュアップしていくのが峯村さんの役割だ。「日本語や日本について知らないプログラマーに改変点を理解してもらうには、客観的なデータをもとに説明する必要があります。先進の技術を動かすのは、人を納得させるプレゼンテーション力です」と語る。分析やプレゼンテーションを行う際、必ず自らに問いかけているのが、自分の考えや行動は「世界の全ての人に受け入れられるものか」ということだという。「私のチームは全員アメリカ以外から来た社員です。担当は国籍や人種ではなく、何語が得意かといった『言語』で分けられます。国も人種も関係ない。この価値観を世界に届けているからアップルが好きなんです」と笑う。

アップルで見いだしたこの価値観を若い人に伝え、次代を担う人材を育てることに関心が出てきたという峯村さん。現在さまざまな機会に自身の経験を伝える活動にも積極的に取り組んでいる。「たとえ国は違っても、世界中の人と同じゴールを目指していることに気付けば、世界から争いはなくなるはず。そう信じています」。最先端のデジタルテクノロジー企業で「世界の平和に貢献したい」という夢を今も追いかけている。

※ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

PROFILE

長野県出身。1997年国際関係学部を卒業後、在学中に交換留学で1年間学んだピッツバーグ大学の大学院に進学。修了後、日系電機メーカーのアメリカ支社での約7年間の勤務を経て、Apple Inc.へ。現在、アップル本社で検索アルゴリズムのパフォーマンスを審査するサーチアナリストとして勤務。



国も人種も超える  
価値観を世界に届ける。

みねむらりょうこ  
Apple Inc. サーチアナリスト 峯村 涼子さん('97 国関)

# 自由な発想で未知の「体験」をアートにする

チームラボ株式会社 カタリスト

オム ジョンシクさん（'15 映像）

デジタル技術を駆使し、斬新な体験型アートの制作・展示やミュージアム運営を手がけるアーティスト集団・チームラボ。オム ジョンシクさんは「カタリスト」として、最先端のデジタル技術を駆使した体験型アートの制作に携わる。創作の楽しさや苦勞とともに、デジタルアートの可能性について聞いた。

撮影：岡田一也

**故** 郷は韓国の小さな町。日本のアニメーションや映画が好きで、「いつか日本に行ってみよう」と思っていました。高校卒業後、アルバイトで資金をためて来日。語学学校に通っていた時、友達から「立命館大学という総合大学に新しく映像学部ができればいい」と聞いて興味を持ちました。今思えば未来が開けた瞬間です。

大学では、授業や映像制作サークルで映画やアニメーションの制作に熱中。学年も学部も多様な仲間と、何週間も泊まり込みでのづくりに没頭しました。

映像はもちろん、音楽もファッションもカルチャー全般が好きだったこともあって、「もっとさまざまなメディアを学んで、表現の武器を増やしたい」と思い、3回生からはメディアアートのゼミに所属しました。思い出深いのは、ゼミの仲間と盆踊りのインタラクティブアートを作り、大分県別府市で開催された文化・芸術の祭典「ベップ・アート・マンズ」に参加したことです。初めて盆踊りを見た時、音楽が始まった途端、周囲の人々がおもむろに踊り出す光景があまりにも衝撃的で、興味を持ったのがきっかけです。「デジタル技術を使って、もっと多くの人々が参加できて盛り上がる

盆踊りにできないか」と思い、デジタルアートで装飾した山車や提灯、手振りに合わせて光る腕輪といった直感的に踊りを誘導するデバイスを制作しました。現地で披露し、たくさんの人に踊ってもらえたことが心に残っています。

その時はまだ就職について考えていませんでしたが、ゼミの望月茂徳准教授から「面白い会社があるよ」と紹介されたのが、チームラボでした。第一印象は「好きなことを追求するオタク集団」。各々が規律に縛られず自由に行動していて、一見カオスだけれど、それがとても平和に感じ

られて、「ここなら学んだことを生かして楽しく働けそう」と採用試験に挑戦しました。

## スペシャリストをつなぐ「触媒」としてアート制作を推し進める

入社後は、アート・展示部門で新卒では初めて「カタリスト」という肩書を与えられ、仕事をしています。カタリストは「触媒」という意味です。当社には数学者や建築家、

デザイナーなど多種多様なスペシャリストがいます。それらがチームになって作品を制作するとなると、専門が違い過ぎて時には会話すら成り立たないこともあります。そんな場合にメンバーの間に入って意思疎通を図ったり、クリエイターの頭の中にあるイメージをうまく引き出して形になるようサジェストするのが私の役割です。プロジェクトが始まったら、お客さまへのプレゼンテーションからスケジュール・予算の管理、設営・展示の手配、広報対応まで、ありとあらゆる業務を担います。





望月ゼミで共に学び、今は同じオフィスで働く松岡正さんとオムさん

「カタリスト」の仕事にガイドラインはありません。仕事を始めたばかりの頃は、何をすればいいのかも分からず、重荷に感じていました。けれど実際にやってみると、大学時代にやっていたものづくりと似ていることに気がきました。映像サークルでは、文系・理系を問わずさまざまな学部の人と一緒に映像を制作していました。チームの中でどのように振る舞うか、人とどうコミュニケーションを取り、プロジェクトを進めるか、規模は違うけれど、大学で同じような経験をしてきたことが役立ちました。

ルールがないために、失敗したこともあります。入社2年目のことです。その頃には仕事も覚え、自分で企画資料を作ってプロジェクトを進めるようになっていました。資料作成も自己流。私のこだわりは、格好良く知的に見えることでした。ところがどんなに力を入れて資料を作っても、

思うように制作が進みません。メンバーにじっくり話を聞いて初めて私の意図が伝わっていないことが分かりました。

同じ頃、当社の代表から「大切なのは、いろいろな人に見てもらうにはどうしたらいいかを常に考えること」と言われたことが、胸に響きました。プロジェクトに関わるメンバーは日本人ばかりではありません。多様なメンバーに理解してもらうためには、英語で書くとか、テキストだけでなく図やイラストを入れるなど、工夫する必要があります。さらには一度つかんだノウハウを繰り返して使える「汎用的な知」にするよう意識することも学びました。「分かりやすく、そして繰り返し使える表現」を徹底して考えるようになったのは、それからです。今は世界各国でアート展示を行うことも多く、国や文化が違う人に向けて作品を制作する時にも、この経験が生きています。

### カオスの中の秩序と平和が子どもたちを笑顔にした

入社4年目からは、チームラボのアート・展示カタリストチームの中で私は「運動の森」というプロジェクトを担当するようになりました。展示するのは、「体験」そのもの。人は頭で考えるだけでなく、筋肉から内臓、細胞まで、身体のあらゆる器官を使って膨大な情報を処理しています。身体性を感じさせる作品を通して、高次元で世界を捉え、世界を立体的に考える体験をしてほしいと考えています。

情報を複雑化・高次元化できるところがデジタル技術の強みです。例えば手でモノをたたいたり、足で踏んだりすることで映像が変わると、一つの動作で終わるのではなく、そこから次のストーリーを生み出すことができます。一回たたくより、連続してたたく方が面白い、何人かで協力して取り組んだ方が楽しい。そんな風に身体性をより高められる作品をつくらうと、日々試行錯誤しています。

身体を使って体験する作品を手がけた初めてのプロジェクトは忘れられません。企画したのは、トランポリンを使った作品です。私たちは、子どもたちに、飛び跳ねるといふ身体運動を通して他者と影響を及ぼし合う感

覚を体験してもらいたいと考え、あえて巨大でジャンプの影響が全方位に及びやすい仕組みのトランポリンを制作しました。

完成後、視察を兼ねて展示の様子を見に行った時に目にしたのは、大勢の子どもたちが、大人の心配などもとせず、夢中になって飛び跳ねている姿でした。当初は安全性を懸念する声がありましたが、子どもたちはルールで縛らなくても自力で危険を察知し、それを避けて遊んでいました。カオスの中に秩序があって、平和を感じられる。そんな世界を体現している子どもたちを目の当たりにし、「自分たちが作った作品は楽しいんだ」と認められた気がして、喜びが込み上げました。

### 目の前にある「1」を人に感動を与える「100」にする

作品づくりは、人間と自然、人と世界との関係性を模索し、それをアートやサイエンス、テクノロジーと融合させて表現すること。目の前にある現象を、デジタル技術を使ってもっと面白くできないかいつも考えています。目指しているのは、ゼロから何かを創り出すことではなく、元々ある「1」を人に感動を与える「10」や「100」にすることです。そのためにアンテナを広げるだけでなく、深く張り巡らせて、ふつうなら目にしても認識しないような小さな出来事も見過ごさないよう心がけています。「どうしてこういうことが起こるんだろう」「自分はどうしてこれを面白いと感じるんだろうか」と深く掘り下げた結果、お客さまが見たこともない作品ができるのだと思っています。作品を楽しんでいるお客さまの笑顔を見た時には、いつも驚きと感動があります。

現在は、3年がかりの大規模プロジェクトが大詰めを迎えています。目下3カ月にわたって中国・北京に滞在し、商業施設内に設けた1万㎡ものスペースに、身体ごと没入する感覚を体験できる巨大なアート空間をつくっています。私が統括する「運動の森」エリアでは、プロジェクトマップピンギし、複雑に形を変える遊具の展示を進めています。今回のテーマは「Massless(質量ゼロ)」。デジタル技術によってあらゆるものがデータ化され、リアルな空間に人



『マルチジャンピング宇宙』 teamLab, 2018-, Interactive Digital Installation, Sound: DAISHI DANCE

がいなくても物事が進む社会になりつつある今だからこそ、質量や物理的な境界線を再認識する体験を創り出したいと考えています。

立命館大学に入学した時から今まで、目の前にある面白いこと、楽しいことを無我夢中で追求しているうちにたどり着いたのが今いる場所です。だから今、チームラボの一員として仕事をしていることも含め、すべて「必然」だったと感じています。これからも既存の価値観に縛られず、自分が「面白い」と思うものを考え続けていきたいと思っています。

#### PROFILE

チームラボ株式会社 カタリスト

オム ジョンシクさん

韓国出身。2015年、映像学部を卒業し、チームラボ株式会社に入社。「カタリスト」としてアート展示の企画から実施まで空間演出に関わる全体業務に携わり、プロジェクトの進行・まとめ役を担う。2018年、東京・お台場で開催した「森ビル デジタルアート ミュージアム: チームラボボードレス」や、2020年、韓国・ソウルでの「チームラボ: LIFE」など数々のプロジェクトに携わる。2022年11月に中国・北京にオープン予定の巨大ミュージアム「チームラボ マスレス」でも「運動の森エリア」の統括を担当する。

「役に立たない機械を考案する」「紙コップの新しい使い方を考える」そんな課題に望月ゼミで挑戦し、「発想を転換する」大切さを学んだことが今の糧になっています

～立命館ファミリー～

立命館出身の親子・孫・きょうだいなど、

在学時の思い出と今を紹介します。

# 未来へ引き継ぐ 「伝統とは革新の連続」という思い

学校生活とバレエを思いっきり楽しんでいきます。(次女・菜々子さん)

食マネジメント学部で学びはじめ、  
祖父・父のすごさに気づきました。(長男・翔一さん)

立命館で培った反骨精神で挑戦し続けます。(祖父・力総さん)



撮影：岡田一也

大学の茶道研究部の活動が料理人人生を豊かにしてくれています。(父・洋治さん)

父・兄のように立命館大学で将来の目標を見つけるつもりです。(長女・杏子さん)

—京料理の老舗「京懐石 美濃吉」を営んでおられます。

**力総さん** 創業は1716年、三条大橋のたもとで店を開いてから300年以上、川魚料理店として伝統を守り続けてきました。1992年には本格的な料亭「京懐石 美濃吉本店 竹茂楼」をオープンし最高級の京懐石を提供しつつ、より多くの方々に京料理を楽しんでいただける店舗展開や百貨店販売にも力を注いでいます。

—祖父・父・孫と3世代が立命館を選んだ理由は？

**力総さん** 私の父は、著名な法学者・末川博総長(当時)を尊敬していて、小さい頃からよく話を聞いていました。実は末川先生とは家が近く、小学校への通学途中に時々浴衣姿の末川先生がお孫さんと遊んでいるのをお見かけし、親しみを持っていました。立命館高校を選んだのは、そんな思い出があったからです。末川先生に憧れ、大学でも法学部を選びました。

**洋治さん** 兄がラグビーをやっていて、強豪の同志社中学校に進学しました。兄とは違う道に進みたいと、「僕は立命館中学校に行こう」と決めました。3人の子どもたちは小学校から立命館

です。教育も環境も素晴らしく、ぜひ学ばせたいと思いました。

—立命館の思い出を聞かせてください。

**力総さん** 高校時代、印象に残っているのは先生のことです。個性豊かで愛情深い先生が多く、ずいぶんかわいがっていただきました。大学時代を過ごした1960年代後半は学園闘争の真ただ中。3回生以降ほとんど授業は開講されない状況でした。暇を持て余し、高校から仲が良かった友達4人でゴルフ愛好会を結成。これが現在の立命館大学体育会ゴルフ部の始まりです。

**洋治さん** 私は高校の頃から「竹茂楼」の調理場に入り、将来は料理人になろうと心に決



立命館高校時代の力総さん



祖父 (写真右から2人目)

佐竹 力総さん

('70法)京都在住  
株式会社美濃吉 代表取締役会長

父 (写真右)

佐竹 洋治さん

('97経済)京都在住  
株式会社美濃吉 専務取締役/調理総支配人

長男 (写真左)

佐竹 翔一さん

(食マネ1)

長女 (写真左から2人目)

佐竹 杏子さん

(立命館高1)

次女 (写真中央)

佐竹 菜々子さん

(立命館中2)



茶道研究部時代の洋治さん

を講師に招き、朝9時から夜10時まで稽古することもありました。部長だった私は、稽古のスケジュール調整や活動費の捻出に奔走。スーツを着て、金融機関や企業にOB・OGを訪ね、協賛金をお願いしたことを覚えています。

—今立命館で学ぶお三方が力を入れていることは？

**翔一さん** 中学からフェンシングを続けています。高校時代の一番の思い出は、全国大会で団体戦3位になったこと。大学でも迷わず体育会フェンシング部に入部しました。今は朝からびわこくさつキャンパスで授業を受け、放課後、1時間余りかけて衣笠キャンパス近くの原谷グラウンドまで移動して、夜遅くまで練習しています。ハードな毎日ですが、上達を実感できるのが楽しいです。

**杏子さん** 私は吹奏楽部に入っています。高校に入学した時、新入生歓迎会で吹奏楽部の演奏を聴いてその迫力に圧倒され、「絶対入る!」と決めました。担当はクラリネット。初心者ですが練習を重ね、徐々に吹けるようになってきたところ。演奏会で演奏した時は、緊張したけれど大きな達成感がありました。

**菜々子さん** 私は幼稚園の頃からクラシックバレエを習っています。今は上級クラスに入り、公演会の出演メンバーにも選ばれるようになりました。学校生活も楽しいです。クラスメイトはみんな仲が良く、友達と集まっていろいろな話をする時間が一番好きです。

**力総さん** 私や息子たちは仕事が忙しいですし、孫たちも大きくなり、頻繁には会えなくなりました。家族の絆を大切にするため、年に3、4回、3世代家族全員が集まる食事会を開催しています。そこで孫たちの学校生活の話聞き、成長ぶりを見るのが楽しみです。

—将来についてはどのように考えておられますか。

**翔一さん** 父にも相談して食マネジメント学部への進学を決めたのは、将来を見据えてのことです。大学では僕と同じように家業が飲食関係の人をはじめ、「将来企業で商品開発に携わりたい」とか「スポーツ栄養の分野に進みたい」などいろいろな考えを持った友人もでき、とても刺激を受けています。大学で学ぶようになり、

めていたので、感性を磨くのに役立つのではと思う、大学では茶道研究部に入りました。当時部員は200名以上もいて、表千家・裏千家・武者小路千家からOB・OG

リーダーとして大勢の人をまとめ、店を運営している祖父や父はすごいなと、改めて思うようになりました。

**力総さん** これだけ食産業に携わる人が多いにもかかわらず、文化やマネジメントも含め、食を総合的に学べる大学は日本にはほとんどありませんでした。食マネジメント学部の開設は本当に画期的だと感じています。子どもや孫が進む道は本人たちに任せていますが、翔一が食マネジメント学部に進学した時は、やはりうれしかったですね。

**杏子さん** 祖父や父に話を聞いたり、兄が楽しそうに大学に通っている姿を見て、私も立命館大学に進学したいと思うようになりました。今興味を持っているのは心理学や哲学。将来はまだ分からないけれど、大学で目標を見つけたいと思っています。

**菜々子さん** 今は、学校生活とバレエを思う存分楽しんでます。進路を考えるのはもう少し先になると思いますが、その時は兄や姉をお手本にしたいです。

—立命館を卒業して良かったことは？

**力総さん** 立命館大学の質実剛健な学風の下で培ったのは、反骨精神です。今日までの家業の歩みは、京料理の伝統を守りつつ、時流を読み「その時、その折」を大切にしながら新しいことに挑戦することの連続でした。そうした精神は、立命館大学で学んだと思っています。父がつけてくれた名前の通り、「力の総て」をかけて、これからも挑戦し続けていくつもりです。

**洋治さん** 卒業して実感したのは、卒業生のつながりの強さです。仕事で卒業生にお会いすることがありますが、立命館出身だと分かった途端に打ち解けられるから不思議です。仕事で海外に行った時は現地の大使館にいた卒業生にお世話になり、多様な分野で卒業生が活躍していることに驚きました。私も母校の絆を大切に卒業生の一人として、附属校で料理を教える活動を続けています。

**力総さん** 私も長年立命館大学ゴルフ部のOB会長を務めるとともに、立命館小学校・中学校・高等学校同窓会「立命館清和会」や立命館大学校友会、立命館大学法学部同窓会の役員も引き受けてきました。先輩として「後輩の力になりたい」という気持ちになるのは、立命館だからこそですね。



フェンシングをする翔一さん

# つながる、ひろがる 校友会

## ～各校友会の取り組み～

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの校友会では、総会をはじめとした行事の中止や延期を余儀なくされてきました。今年度は感染拡大防止に留意しつつ、規模を縮小した対面開催や、対面とオンラインを併用したハイブリッド開催など、各校友会で工夫を凝らした活動がなされています。

各校友会の活動は、「校友会NEWS」でご紹介しています。ぜひご覧ください。



8/7 [海外] マレーシア校友会  
8/27 [都道府県] 静岡県校友会  
9/2 [学科・ゼミ] 建立会(建設会大阪支部)  
9/3 [都道府県] 秋田県校友会  
9/3 [都道府県] 島根県校友会



9/11 [都道府県] 新潟県校友会  
9/24 [都道府県] 埼玉県校友会  
10/2 [学科・ゼミ] 文学部英米文学同窓会  
10/29 [都道府県] 兵庫県校友会

## 校友会ネットワーク

各校友会が開催した行事の報告です。

## 行事一覧

2022年8月～10月に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。

今後のイベント予定は校友会ホームページをご覧ください ※環境や機種によっては閲覧できない場合があります



日程	校友会・グループ	会場
2022/8/7(日)	マレーシア校友会 懇親会	クアラルンプール郊外
2022/8/27(土)	静岡県校友会「Rits Shizuoka 校友の集い」	レイアップ御幸町ビル
2022/9/2(金)	第50回 建立会(建設会大阪支部)総会	ヴィアーレ大阪
2022/9/3(土)	秋田県校友会 総会	アトリオン
2022/9/3(土)	福島県校友会 総会	ホテルハマツ
2022/9/3(土)	島根県校友会 総会	サンラポーむらくも
2022/9/3(土)	オール立命館/福岡2022 新卒歓迎パーティー“立門会”	頤和園(いわえん) 天神店
2022/9/3(土)	経営学部校友会 第1回セミナー	立命館大学大阪いばらきキャンパス
2022/9/4(日)	広島県校友会 総会・懇親会	広島オフィスセンター
2022/9/11(日)	新潟県校友会「校友の集い(定期総会・懇親会)」	みんなの駅の交流拠点「MOYO Re:」ホール
2022/9/24(土)	埼玉県校友会 第33回総会「彩の国・校友の集い」	立命館東京キャンパス
2022/9/24(土)	立命館守山早苗会 70周年 大同窓会! 2022	琵琶湖ホテル
2022/9/24(土)	立命館大学理工学部土木工学科 昭和48年度入学同期会	アークホテル岡山
2022/10/2(日)	第47回 立命館大学文学部英米文学同窓会	立命館大学衣笠キャンパス
2022/10/22(土)	立命館清和会 第111期 総会・懇親会	ウェスティン都ホテル京都
2022/10/22(土)	関東建設会(建設会 関東支部)総会	大手町サンケイプラザ
2022/10/29(土)	茨城県校友会 総会	水戸三の丸ホテル
2022/10/29(土)	兵庫県校友会 100周年記念総会	神戸倶楽部

※各団体において、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、開催されました。※2022年10月末時点で事務局に寄せられた情報となります。



# 立命館オンラインセミナー

新型コロナウイルス感染症は、社会インフラ・経済システムに急激な変化をもたらしました。

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、ジョブ型雇用など労働環境の変化は、われわれの生活様式や働き方、そしてコミュニケーションのあり方にも大きな見直しを迫っています。

「学び」も大きな影響を受ける中、立命館大学は、「学び」を求める全ての人に開かれた新たな拠点として「立命館オンラインセミナー」を展開しています。

どこからでもアカデミックな講義を受講できる、何度でも繰り返し視聴できる、素朴な疑問もネットであれば気軽に質問できる、そんな「学び」をあなたも体験してみませんか?

PC・スマホ・タブレットからカンタン受講!  
※1

自宅からでもどこからでも受講できる!

Q&Aで講師に質問ができる!  
※2

※1 受講にはあらかじめZoom(アプリケーション)のダウンロードが必要です。  
※2 受講者は顔や名前が他の受講者に表示されることはありません。

### お申し込み方法

インターネットからお申し込みください

※電話・FAX・郵送・メールでのお申し込みはお受けしておりません。  
※お支払いはクレジットカード払いのみです(JCB・VISA・Mastercard・American Expressがご利用いただけます)。

### 募集中の講義 (2022年12月現在)

**冤罪と粛清の日本古代史**

本郷 真紹 立命館大学 文学部教授

第1回 無料

**明治維新の衝撃**

立命館大学 山崎 有恒

第1回 無料

**メディアとしての浮世絵**

赤間 亮 田辺 昌子 日野原 健司

第1回 無料

### 2022年度 開講実績 (一部)

**建築から考える 省エネルギーと快適性**

李明香 立命館大学 工学部准教授

**ヤングケアラー 支援**

斎藤 真緒 立命館大学 社会学部准教授

**住み続けられるまちづくりとは?**

岡井 有佳 立命館大学 社会学部准教授

**公民権運動はどのように語られてきたか**

坂下 史子 立命館大学 社会学部准教授

主催 立命館大学 社会連携課  
住所: 京都市中京区西ノ京朱雀町1

お問い合わせ 立命館アカデミックセンター事務局  
E-Mail: acr02@st.ritsume.ac.jp



# オール立命館 校友の集い 2022

ひさしぶり!はじめて!はじめて!  
—出会い、広がるつながり—

# オール立命館校友の集い2022が オンラインで開催されました!!

3年連続オンラインで開催した「オール立命館校友の集い」。テーマの「ひさしぶり!はじめて!はじめて!—出会い、広がるつながり—」には、「これまでのつながりや親交を深めるとともに、新しい出会いや発見につながってほしい」という思いが込められています。



10月15日開催

## あつまれ!ライブ交流企画

オンラインだからこそ、どこからでもつながれるZoom交流会——。

今年度は学生が幹事やファシリテーターとなる交流会も実施され、多様な交流が生まれました。

PICK UP  
01

### メタバースに興味ある人集まれー!

昨今話題のメタバースについての紹介、情報交換企画を行い、25名以上の校友・学生が参加しました。メタバース活動家で「メタバース不登校学生居場所支援プログラム」を実施している一般社団法人ゆずタウン 理事長の岡村謙一さん(院 MOT2、活動名:水瀬ゆず)が主催し、アバター姿で「メタバースとは何か」「メタバースの中でどのような文化が広がっているのか」「メタバースを活用して何ができるのか」について紹介しました。その後の交流会では、メタバースを活用した若手主導の校友ネットワークへの可能性や、孤独問題の解決などについて意見交換を行いました。



PICK UP  
02

### アメリカンフットボール部パンサーズ 覇権奪還に向けたキー ～伝説の名QB東野稔と元監督米倉輝が語りつくす～

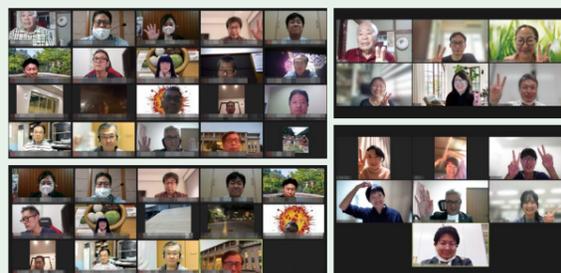
米倉輝さん('95法)、東野稔さん('97産社)をゲストにお招きし、「ファンの皆様とパンサーズOBOGとの交流」「今シーズンの見どころをお伝えする」「選手たちに声援を届けて、日本一を勝ち取ってもらう」を主旨に開催しました。当日は、現役選手や卒業生の父母、パンサーズOBOGやその友人などたくさんのファンの皆さまにご参加いただきました。1994年初優勝時のエピソード、今シーズンの見どころ、注目の選手についてお二人にお話しただく中で、ファンの皆さまからたくさんのご質問をいただきお二人ならびにパンサーズOBOGとさまざまな意見交換を行いました。



PICK UP  
03

### 全国、さらには世界各地の校友とつながる! 都道府県校友会交流会～各地の魅力を語ろう～、 海外校友会集まれ

今年度も実行委員会主催の交流企画として、皆さまがさまざまなグループの枠を超えてつながることができる場を創出するため実施しました。都道府県校友会交流会では、衣笠・大阪いばらきの両キャンパスからの中継を交えながら、久しぶりの再会に笑顔があふれました。海外校友会集まれでは、国を越えてつながることで、はじめての出会いに新たな発見がありました。



### 交流会一覧(全44企画)

#### A:誰でも参加可能 この指とまれ!オープンコミュニティ

##### 語り合う

- ベンチャー・スタートアップで仕事している方!興味のある方もお気軽に参加OK!
- 食の循環を考えよう
- スタートアップ関係者の集い
- アニメ交流会
- メタバースに興味ある人集まれー!
- 教職大学院の先生と教育について語ろう会
- 現役吹奏楽部員と吹奏楽について語ろう!
- 学食でソイミート!?生協食堂の今とヴィーガンのあれこれ

##### きもの×パリ

- 中華校友会の集い
- WX(ワークトランスフォーメーション)～人生100年時代の「意味ある仕事」を考える～
- 集まれ!大家さん!
- トレッキング仲間集まれ!～リツトレ関西～

##### 体験する

- ケアトレーニング～おうちでリフレッシュ!～

##### 知る・学ぶ

- 神奈川県校友会 活動ご紹介
- キャリアコンサルタントとキャリアについて考えよう!
- RIMIXサポーターズクラブ ×ほう!Rits(法律)コラボ!!
- 職人醤油と醤油を語る会
- アメリカンフットボール部パンサーズ 覇権奪還に向けたキー～伝説の名QB東野稔と元監督米倉輝が語りつくす～
- "今どきの就活"を知っておこう!
- 立命館スポーツ応援企画!!

#### B:参加対象限定 同窓会・懇親会 クローズドコミュニティ

- 都道府県校友会交流会～各地の魅力を語ろう～
- 海外校友会集まれ(午前の部)
- 海外校友会集まれ(午後の部)
- 九州・沖縄ブロック校友会交流会
- オール立命館校友大会2018 in 仙台 若手会 オンライン懇親会
- リモート立拳会で乾杯しよう!!
- 産社学会学生委員会OB/OG会(オンライン)
- 1981年3月法学部・広小路卒同期会

- 30代40代の"ほんわか"しゃべり場!校友会どう活用する?
- 2006年度JA交流会
- 理工ESS-OB/OGオンライン交流会
- 「SOMPO立命会」Zoom交流会
- 立響OBOG2004
- 立命館大学衣笠地区BBS会 卒業生・在校生 集まれ!
- 【同窓会】スポ健オンライン交流会
- 第3回日本経済研究会OB・OG会

- オープンキャンパススタッフ・入試広報学生スタッフOBOG会
- 関東甲信越女子会～いろんなテーマで盛り上がりよう!～
- 朋命会(神戸市教職員・OB・OG)このZoomにと～まれ!
- モンテカセム同窓会～元APU学長カセム先生にゆかりのある人集まれ～
- 上田寛刑法・犯罪学ゼミ会
- Rits8 オンライン同窓会22'
- 関西時代メンバー同窓会 APU・立命館

### PRESENT /

## 立命館大学校友・関係者限定で 参加特典をプレゼントしました

昨年に引き続き、立命館大学校友・関係者で、ライブ配信企画・ライブ交流企画に事前申し込みされた方を対象に、京都にゆかりのあるお菓子(Rのロゴ入り)・コーヒーをご自宅へお届けし、当日同じものを楽しみながら参加いただきました。



コーヒー  
(小川珈琲)  
京珈琲ドリップ  
×2個

お菓子  
(マールブランシュ)  
茶の菓  
(Rのロゴ入り)



# 10月16日開催 どこからでも!ライブ配信企画

オール立命館  
校友の集い  
2022

ひさしぶり!はじめて!  
—出会い、広がるつながり—

例年好評の立命寄席やオンラインセミナーをはじめ、  
校友である高校野球部監督による座談会や、サバンナ八木さん・高橋さんによるキャンパス巡り、  
ザ・プラン9の浅越ゴエさんによるインタビュー企画など、多岐にわたる内容を配信しました。

## 10:30 オープニング

今年は片岡響さん('22産社)がバイオリンで演奏する立命館大学校歌の映像で始まった「オープニング」。実行委員の佐伯祐左さん('95院理工)が司会を務めました。村上健治校友会会長('70産社)による「日本全国、世界各地からオンラインでつながり、立命の絆を深めましょう」という言葉で開会が宣言されました。



司会 佐伯祐左さん(左)、村上健治校友会会長(右)

## 10:30～12:00 [オンラインセミナー] 立命館大学創立物語～受け継がれた「教育」の絆

やまざき ゆうこう  
山崎 有恒 立命館大学文学部教授

日本近代政治史を研究する山崎有恒教授が明治維新後の改革の中で立命館大学が創立された経緯を解説しました。大久保利通、板垣退助という二人の指導者が日本に政党政治を展開させていく中で教育改革の必要性に思い至り、それが西園寺公望、木下広次、そして中川小十郎へと受け継がれ、立命館大学の創立に至りました。近代日本を導いたリーダーたちが目指した「教育」を体現したのが、立命館大学だったと明かされました。



[プロフィール] 専門は日本近代政治史。「公議」をキーワードに幕末維新史の再構築を目指す。治水・競馬など従来の政治史にはない斬新な視点から、現代日本社会が成立した過程も研究。著書に『西園寺公望関係文書』(山崎有恒・西園寺公望関係文書研究会編著、松香堂書店、2012年)

## 14:30～15:30 [スペシャルステージ] 立命寄席オンライン2022 with 落語研究会

しおだい  
桂 塩鯛師匠(写真左・'74経営入学)  
こはるだんじ  
桂 小春團治師匠(写真中央・'76文入学)  
あめみ  
立命亭 飴味さん(写真右・文3)立命館大学落語研究会 代表

まず文学部3年生で立命館大学落語研究会の立命亭飴味さんが前座を務め、古典落語の一つ「釜泥」を語りました。続いて桂塩鯛師匠が、「お菊さん」でおなじみの上方落語の名作「皿屋敷」、桂小春團治師匠は、こちらも上方落語の演目で、腐った豆腐を食べさせる面白噺「ちりとてちん」を披露。巧みな話術で視聴者に笑いを届けました。



## 16:30～18:00 [オンラインセミナー] 緊迫する国際情勢と日本の針路

やぶなか みとじ  
数中 三十二 立命館大学客員教授

数中三十二客員教授が、ウクライナ危機に端を発し、かつてないほど緊迫している世界情勢について解説しました。まず、これまでのウクライナ危機について振り返りながら、今回ロシアが侵攻に至った経緯・現状について説明、考えられる出口戦略について数中客員教授の見立てを述べました。次いで日本を取り巻く国際情勢、中でも中国・北朝鮮に言及。台湾有事・北朝鮮のミサイル発射などの緊張感が高まる国際環境の中で日本がなすべきこととして、「日米の確固とした同盟関係を世界に示す」「日本が一定の防衛力を整備する」、何よりも「有事が起きないように徹底して外交する」などを挙げました。「今こそ外交力を発揮し、日本がアジア地域の平和を築くリーダーになってほしい」と期待を込めて語りました。



[プロフィール] 大阪府生まれ。外務省北米局課長時代に日米構造協議を担当。アジア大洋州局長として六者協議の日本代表を務め、北朝鮮の核や拉致問題の交渉に当たる。2010年に外務事務次官を退官し、立命館大学特別招聘教授に就任。2018年から現職。

## 18:10 エンディング

司会進行を務めた佐伯祐左さんが「本日の集いが、新しい発見や明日へのエネルギーにつながれば大変うれしい」との期待を述べて、「校友の集い」は幕を閉じました。

## 12:30～14:00 [スペシャル対談] だからおもしろい —高校野球、そして甲子園—立命館大学校友・高校野球部監督座談会—

詳しくは  
P20-23

川崎 絢平監督('04産社) 明豊高等学校、秋武 祥仁監督('04産社)立命館守山高等学校、里井 祥吾監督('06産社)立命館宇治高等学校  
家田 康大監督('09法)島根県立浜田高等学校、進行・大西 洋平さん('07経済)テレビ朝日アナウンサー

## 15:30～16:00 [スペシャル企画] サバンナ八木さん・高橋さんが歩く衣笠キャンパス

詳しくは  
P23

お笑いコンビ「サバンナ」八木 真澄さん('97産社)、高橋 茂雄さん('98産社)

## 12:20ごろ/14:20ごろ/16:20ごろ [インタビュー企画] ミライをつくる学生たち ～校友会未来人財育成奨励金で出来たこと～

詳しくは  
P24

聞き手・浅越 ゴエさん(ザ・プラン9)('96法)吉本興業  
出演・きぬがさ農園 Kreis、Bottle to Bottle<sup>※</sup>、Uni-Com<sup>※</sup>、Lápiz Private、LiNK

※Bottle to Bottle、Uni-Comについては見逃し配信のみ出演



12:30~14:00 [スペシャル対談]

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

オール立命館  
校友の集い  
2022

ひさしぶり!はじめまして!  
—出会い、広がるつながり—

# だからおもしろい— 高校野球、そして甲子園

—立命館大学校友・高校野球部監督座談会—

立命館宇治高等学校

さと い しょうご  
**里井 祥吾**監督

(’06産社)

大分県・明豊高等学校

かわさき じゅんぺい  
**川崎 絢平**監督

(’04産社)

立命館守山高等学校

あきたけ あきひと  
**秋武 祥仁**監督

(’04産社)

島根県立浜田高等学校

いえだ やすひろ  
**家田 康大**監督

(’09法)



## —立命館大学体育会硬式野球部での思い出

**川崎** 当時の監督・松岡憲次さんは、掃除や挨拶、言葉遣いについて、すごく厳しかったですね。寮に埃一つ落ちていれば掃除担当者がすぐに呼ばれますし、そういう意味では社会に出てからの基礎を野球部での練習や寮生活で学ばせてもらったと思います。監督になって感じているのは、技術以上に人間的な部分の重要性です。トーナメントの試合の「絶対負けられん」というところで、人間としての弱さとか甘さが出て負けることが多々あります。振り返った時に、大学で松岡監督に教えていただいた「人として」ということを叩き込んでいかないと大事な試合で勝てないと常々思っています。

**秋武** プロを目指すことも含め、高い目標をもって取り組まれていた先輩が多かったので、一人ひとりが自立して練習に取り組んでいました。松岡監督には、技術的なことの指導はもちろんですが、一社会人としてというか、人としてどうなんだっていうことを教えていただいたと思っています。厳しい監督でした。

**里井** 松岡監督がいらっしゃると緊張感が全然違いました。怒られても納得できるというか、嬉しくもありました。僕も一指導者として松岡さんのような存在になれたらと思います、背中を追いかけられています。

## —2022年の夏の甲子園を振り返って

**家田** 大会直前、私のチーム(浜田)はコロナの影響を受けてしまい、「辞退」という言葉も頭をよぎりました。そういう状況の中で高野連の方からお電話をいただいて、「何とか試合ができるように前を向いてやっていこう」という言葉に本当に救われました。試合をできただけでもありがたかったのですが、何とか勝つことができ、本当にいい経験をさせていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

**川崎** 今年は久々に満員の観客に応援される中での甲子園となりました。入学した頃からコロナの影響を大きく受けてきた生徒たちは、大観衆かつ応援もフルにある中で野球をする機会はこれまでほとんどありませんでした。私のチーム(明豊高校)は

ベスト16で夏を終えましたが、勝っているチームから学ぶことが数多くありましたね。

**家田** 甲子園の期間中に里井さんから「川崎さんに挨拶したか」とお電話をいただいて。その時に初めて川崎さんにご連絡させていただきました。有名な監督さんですし、めちゃくちゃ緊張しました。第一声からもう本当に優しく、「家田くんは知っているよ」と言ってくださいました。川崎さんからは、積極的に仕掛けることであったり、監督自身が強気な姿勢を示すことの重要性についてアドバイスしていただきました。里井さんは、前もって川崎さんに連絡してくださっていました。自分自身、全く経験がないので、先輩方に教えてもらいながら、なんとか良い経験をさせていただいた、つながりに救われたという思いです。

**里井** 野球部のOB会のメンバーに聞くと、立命館大学卒業で高校野球の指導に携わっている方は30名程度いらっしゃるということです。川崎さんをはじめ、甲子園で近年活躍されている先輩もおられますし、励みになりますよね。私のチーム(立命館宇治)は今年の夏は、京都市大会の準々決勝で敗退となりました。どの大会も勝ちきることの難しさは毎年痛いほど感じています。学生野球の一番いいところでもあるのですが、毎年選手が入れ替わるんですね。強くあり続けるのは難しいですね。

**秋武** 私のチーム(立命館守山)は、滋賀大会で2年連続準優勝でした。当然悔しい思いもありますし、選手を甲子園に導いてやらなかったという申し訳なさもあります。ただ、選手たちの能力が100%出せましたので、選手たちもやりきったと感じていると思っています。

## —コロナの中での高校野球、練習や指導は?

**川崎** 難しかったですね。今までやっていた当たり前のことが全くできないわけなので。「野球人として」「人間として」、いかに頭を使って野球ができるか、練習に取り組めるかということをご数年何度も生徒に言ってきました。そういう中で、コロナがなかったら当たり前すぎて気付かなかった野球ができる喜び、周りの人が自分たちのために環境を整えてくれていることへの感謝などを改めて感じる事ができました。

**秋武** 私のチームはハード面も整っていないですし、練習時間が短い中で創意工夫し、自主性を持ちながら野球をするというのが創部当初からのやり方でした。そういう意味では、コロナの環境だからこそ、ここ数年しっかり勝っているようなところがあります。いろんな制限がある時期だからこそ、自分たちの強みをより発揮できたと思います。

## —高校野球、自分の高校時代と今の違いは?

**川崎** 昔は、監督やコーチが選手を引っ張っていくという感じでしたが、今は与えられた環境や与えられた知識をもとに、生徒自身がいかにか考え練習していくかが重要になっています。自主性というか、本人の考えや思考が結果に大きくつながります。本人に求められる野球に対する姿勢は、僕らの時よりも今の方が強いと思いますね。私は、「こういうトレーニングをした方がこういう効果が出る可能性があるよ」といったアドバイスはしますが、やるかやらないかは生徒次第です。そういう時代だからこそ、高校野球の指導者には「言葉」が必要です。生徒が納得する語彙力というのが非常に大事だと思います。

**秋武** 昔と比べると今の生徒たちは純粋で素直で、自分たちの時よりも練習はとて真面目にする印象です。一方で、結果が伴わない時や失敗した時の立ち直りには時間がかかります。なので、生徒とのコミュニケーションは、めちゃくちゃ考えます。納得させたいので、あまり多くは喋りません。本当に必要なことだけ端的に話すことを心掛けています。

**里井** 立命館大学の先輩である古田敦也さんをはじめプロ野球選手の方々がYouTubeでいろいろな話をされていますし、僕らも拝見しています。僕らがやっていた時に比べると情報量がすごく多いですね。僕が一番ウエートを置いているのは、生徒が気付いてくれることです。技術的なものも精神的なものも自分で気付いたら生徒も納得するし、その気付きにいかにかこちらがアプローチしていくかです。

## —指導にあたって大切にしていること

**家田** 人生はやっぱり「自分」を核にして進めていくものだと思います。その可能性を自分でふさいでしまうということがない

立命館宇治高等学校  
**里井 祥吾**監督(’06産社)

大学卒業後、家業であるパン屋「ブラザーベーカー」で働く。その後、母校・京都府立宇治高等学校の恩師でもあった卯瀬逸夫監督が立命館宇治高等学校硬式野球部の監督へ就任することを契機に、2006年にコーチ就任。2016年、卯瀬監督から監督のバトンを受け取った。2019年、37年ぶりとなる夏の甲子園出場に導く。初戦・秋田中央高等学校を1-0で下し、甲子園初勝利をあげた。

大分県・明豊高等学校  
**川崎 絢平**監督(’04産社)

大学卒業後、社会人野球のクラブチーム「和歌山箕島球友会」に所属、全日本クラブ野球選手権大会優勝に導く。引退後、実家が経営するコンビニで勤務していたところ、高校時代の恩師・高嶋仁監督に誘われ、母校・智辯学園和歌山高等学校野球部コーチに就任。2012年秋に明豊高等学校硬式野球部監督就任。2021年センバツで準優勝。

立命館守山高等学校  
**秋武 祥仁**監督(’04産社)

大学卒業後、社会人野球の企業チーム「一光硬式野球部」で現役を続ける。その後、「かずさマジック」のコーチに就任。2013年に日本選手権優勝を果たす。2016年、立命館守山高等学校硬式野球部の初代監督に就任。「道具が何一つないところからのスタートだった」と語る。創部4年目で秋の滋賀大会準優勝。創部7年目となった今夏も滋賀大会準優勝、悲願の甲子園初出場を目指している。

島根県立浜田高等学校  
**家田 康大**監督(’09法)

大学卒業後、民間企業に就職。30歳を迎えた時に「高校野球の指導者になりたい」という気持ちが芽生える。働きながら教員免許を取得、2020年に母校・島根県立浜田高等学校のコーチに就任。2021年に監督就任。今夏、自身が主将として出場した第86回大会(2004年)以来18年ぶりの甲子園出場に導いた。



ように、もっともっというんな可能性にチャレンジしてほしいと思っています。私自身、30歳を過ぎてから教員免許取得を目指すという、ある意味「無謀」なチャレンジをしています、その決断があったからこそ、今の自分があると思っています。

**里井** 指導する上で一番大事にしたいのは、生徒たちがグラウンドに来たがっているか、楽しんでいるかですね。グラウンドに足が向かへんという子も、もちろん時期によってはいます。部員が約100人いますが、レギュラーになれるのは9人ですから、その100人分の2年半の人生、楽しんでほしいと思っています。なので、僕が声をかけるのは控えの子ばかりですね。

**秋武** やはり主役は選手です。いつも彼らに「このチームは誰のものや」という話をします。もちろん学校の協力もあるけれど、このチームはお前たちのものだ。だからこそ、お前たち自身がつくり上げていきなさいと。その中では、指導者はあくまでもサポート役に過ぎません。選手たちが作り上げていくことに面白さも感じてほしいですし、チャレンジしてほしい。それがやりがいや達成感につながるとしています。彼らが大人になって当時の話をする時に、「あの時しんどかったな」というよりも、「あの時めっちゃ楽しかったな」「もう一回やりたいな」、そういう感じでお酒でも飲んでくれたらいいなと思っています。

**川崎** 技術指導のみならず運営の仕方なども含めて、正解や100点はないと思っています。預かった子どもたちに対して全力で接する、この子たちが高校を卒業して幸せな人生を歩んでいくために、何かできることや言えることがあればという想いで接すること、それが僕らにできることです。

#### ——高校野球とは？ 甲子園とは？

**家田** 高校野球を通じて、人としてどう成長していくか、そういう部分を学ぶことが非常に多いですね。10回のうち3回打てば名選手という、失敗ばかりのスポーツを自ら選んでやっているわけですから、そこに挑戦していくのは、それだけで意味があると思っています。また、今夏に指導者の立場で初めて甲子園を経験させていただいて改めて感じた球場に入った時のあの雰囲気、観客の方々。あの場で見た生徒自身の表情から、間違いなく自身の成長につながる場所、目指すべき場所であると感じました。

**里井** ある種人生を懸けた勝負なのではないかなと。もちろん、「上手」「下手」とか「勝ち負け」というのはあるのですが、その門を叩くというのは一大決心であると思います。これだけ注目されて、これだけ人の心を動かす、勝負に懸ける熱い想いが毎

年繰り広げられる。球児にとって、甲子園という舞台を目指して野球をすることに意味があって、なんていうか尊いものかな、という感覚です。

**秋武** 野球人にとって、「高校野球」は本当に特別だと思います。一つのこと熱中する、没頭する、そういう場をわれわれも提供し続ける必要があると思っています。甲子園は、私は監督としても選手としても行ったことがないので「生徒たちに行ってほしい」という気持ちは強い。ただ、甲子園だけにとらわれて、大切なものを見失って野球をするのはちょっと違うかなという思いもあります。やっぱり「野球」を大事にする、それに尽きるとは思いますね。

**川崎** 高校野球を通じて、その後の人生を幸せに生きていくための力を養ってくれれば、それが一番だと思っています。甲子園は「頑張ったご褒美」というイメージで出させてもらっているのですが、いろんな人の支えがあり、いろんな方が応援してくれているのですから、出る以上は県の代表にふさわしい良い試合をして結果を出さないといけない。高校野球であれだけ苦しいことを乗り越えて、最後にあんな良い思いができたという成功体験があれば、社会に出た時も、苦しい時に踏ん張れる力になってくれるんじゃないかなと。それが甲子園に出た生徒にとって何よりの財産になるんじゃないかなと思います。

#### ——立命館大学のつながりを感じる時

**里井** 私は大学4年間、そして立命館宇治のコーチ・監督として17年間立命館に身を置かせていただいています。現役時代はもちろん、高校野球でも勝ったら立命館大学の校歌が流れます。もう二十数年、立命館の校歌を毎回毎回歌わせていただいています。そのたびに「立命館に育てていただいた」、そういう思いになります。

**川崎** 全国でいろんな形でお会いする先輩、練習試合していただく先輩もいますし、自分も学校の募集活動で他県に行った時にそこで会う立命館の先輩だったり同級生だったり、いろんなお話をさせていただくのが楽しいですね。また、プロ野球で頑張っている後輩たちの活躍も新聞などで必ずチェックしますし、後輩が出ている試合が近くであればやっぱり見たいなと思います。野球、そして高校野球・生徒に一層真剣に向き合おうと思わせてくれる、エネルギーをくれる存在であり、いつまでも支えてもらっています。

#### ——立命館大学とは？

**家田** 人生を豊かにしてくれるものだと思っています。私が何より大切だと思っているのは、人と人との結びつきです。そういう時間や場所をこの大学で経験させてもらいましたので、立命館大学は私の人生にとって大きな存在です。

**里井** いまだに憧れですね。立命館大学を選んだ理由は、「京都で野球が強い」という憧れからでした。また、時代の流れや子どもの変化にも対応して、とても柔軟な学校経営をしていると感じています。「歩みをとめない立命館」に私自身も身を置いて、将来、立命館を卒業していくであろう生徒の成長を見守れている今、とてもやりがいを感じています。その子たちも卒業して「やっぱり立命館の血が流れているな」、そういう風を感じる社会人になってくれて、その子たち自身も「自分の子どもを立命館に入れたいな」と思う、そういう憧れであり続けてほしいなというところも



含めて、私自身にとっては、今も昔も変わらず、憧れですね。

**秋武** 私は立命館宇治の出身でもありますので、立命館に育てていただいた、本当に感謝でしかないですね。そして今もなお、この立命館で仕事をさせてもらっているという意味では、大きな責任は伴いますが、やっぱり立命館は大きな誇りです。

**川崎** 秋武が言いましたが、まず出てくる言葉は誇りだと思います。その誇りを大切にするためにも、「もっともっと自分も頑張らないといけない」という思いです。ある意味、自分で勝手にかけているプレッシャーですが、立命館大学のOBだということの誇りと責任感から出てくるプレッシャーを自分に課して、それで成績を出すことで、恩返ししていきたいと思っています。

[進行]  
テレビ朝日アナウンサー  
**大西 洋平さん**  
(’07 経済)

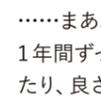


**大西** こうして立命館大学体育会硬式野球部のOBの皆さんが全国いろんなところで活躍をされています。私たちにとっては、自らの母校に加えて応援する高校が全国各地に増えてきている、そんな感覚もあります。ぜひこの先もまた素晴らしい成績を収められますことを願っています。長時間ありがとうございました。

#### ＼家田監督から川崎監督への質問／



どうしても注目される立場だと思います。心の持ちようについて、お聞きできればと思います。



……まあ、気にしない(一同笑)。それが一番。1年間ずっと生徒を見てきて、その子の特徴だったり、良さも悪さも全て知っているのは監督である自分自身。最後は腹をくって自分で決断する。それでうまくいかなかったら、もちろん自分の責任。でも、根拠のある賭けをできるように、練習でその根拠をつくっていくことを大事にしています。根拠を練習試合からずっと示していると、どんな時もチームは動揺しません。周りからのいろんな見方はあったとしても、チームも自分も動揺がなければ、それはそれでいいと思っているので、根拠のある賭けに出られるよう、練習で根拠をしっかりつくっていくことに力を注いでいます。



ありがとうございます。根拠の部分をしっかり持っておけばいいということを改めて認識でき、力をいただきました。

当日配信いたしました座談会の一部を抜粋してお届けしました。

立命館大学 公式YouTubeチャンネル  
「Ritsumeikan Channel」にて  
2023年1月31日(火)17:00まで見逃し配信中!

立命館 YouTube

検索



15:30～16:00 [スペシャル企画]



©YOSHIMOTO KOGYO CO., LTD.

お笑いコンビ「サバナナ」  
八木 真澄さん(’97産社)、高橋 茂雄さん(’98産社)

約10年ぶりに衣笠キャンパスを訪れたお二人。平井嘉一郎記念図書館、立命館高校卒業後に再会した場所、懐かしの以学館など、衣笠キャンパスを巡りながら、さまざまな思い出を語っていただきました。また、学生会館では舞styleや将棋研究会の学生たちと交流。最後は、吉本興業に入るきっかけとなった学園祭のエピソード(千原ジュニアさんとの出会い)も披露していただきました。



図書館前



清心館



以学館ホール



存心館前

立命館大学 公式YouTubeチャンネル  
「Ritsumeikan Channel」にて  
2023年1月31日(火)17:00まで  
見逃し配信中!

立命館 YouTube

検索





[インタビュー企画]

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

# ミライをつくる学生たち ～校友会未来人財育成奨励金で出来たこと～

## オール立命館 校友の集い 2022

ひさしぶり!はじめて!  
-出会い、広がるつながり-

「校友会未来人財育成基金」が今年で10周年を迎えました。

それを記念して、同基金を原資とした校友会未来人財育成奨励金を受給し、

SDGsを切り口に社会課題の解決に向けて活動する学生団体のインタビューをお届けしました。



きぬがさ農園 Kreis

キャンパス内の落ち葉を活用して「腐葉土」を作り、大学構内の農園で野菜を育てている。また、収穫した野菜は生協食堂にも提供している。



Bottle to Bottle

使用済みペットボトルを原料化し、再びペットボトルに生まれ変わらせる水平リサイクルのシステムを、大阪いばらきキャンパスに構築することを目標に活動を行う。



Uni-Com

生協食堂で廃棄される食品を堆肥化し、資源循環の仕組みづくりを行う。完成した堆肥は大学構内の農園で活用されている。



Lápiz Private

地域の方々から余剰野菜を受け取り、絵の具に加工。子ども向けのテーマパークやショッピングモールなどでワークショップも実施している。

※Bottle to Bottle, Uni-Comは見逃し配信のみ出演



ザ・プラン9  
浅越 ゴエさん('96法)



LiNK

生協食堂へのヴィーガンメニュー導入を軸に、勉強会の実施やマルシェへの出店など、ヴィーガンやプラントベースに関わる活動を通して食の多様性への対応向上を目指す。

## オンライン抽選会を実施しました!

「校友の集い」ライブ配信企画開催中、4回のオンライン抽選会を実施しました。当日、ライブ配信会場で、村上健治校友会会長、立命館宇治高等学校硬式野球部の里井祥吾監督、平林幸子校友会副会長、菟中三十二客員教授がルーレットで当選番号を決定。当選者には豪華な賞品をお贈りしました。



抽選を行う村上健治校友会会長と司会の佐伯祐左さん(左)、里井祥吾監督(中央)、平林幸子校友会副会長(右)

### ～当選者の声と賞品の数々～

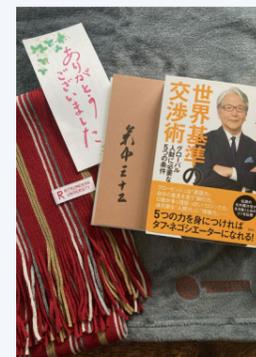
すてきな賞品をいただきありがとうございました。今年から長野県校友会の会長を仰せつかり、それがきっかけで「校友の集い」に参加させていただいたのですが、まさかこのような幸運が待っていたとは……。ちょうど、家族からリビングの暖房機器の不具合を訴えられておりましたので、いただいたダイソンは早速「我が家の一軍メンバー」として活躍してもらっています。これで長野の寒い冬も乗り越えられそうです(笑)。



ダイソン空気清浄機能付ファンヒーター

土屋勝浩さん('89法)

「校友の集い」は初めての参加でした。抽選会を人ごとのように眺めていたら、手元の携帯電話が鳴り、当選のご連絡。当たるはずもないと自分の抽選番号も確認せず、のんきに構えていましたのでびっくりしました。すてきな賞品を届けてくださり、ありがとうございました。さまざまな分野からのライブ配信はとても興味深く、校友の方々の幅広いご活躍に感動いたしました。次回も楽しみです。



菟中三十二客員教授サイン本と立命館グッズ

愛知県、父母、50代



奄美黒糖焼酎  
れんと響きセット



立命館グッズ  
(扇子)



木の屋石巻水産  
缶詰10缶



立命館グッズ  
(名刺・ステンレスボトル)



立命館グッズ  
(名刺入れ)

校友会  
未来人財  
育成基金

## 校友会未来人財育成基金 募集累計額が3億円に到達しました!

2012年10月に校友会未来人財育成基金がスタートして今年で10周年を迎えました。校友が後輩(学生)・母校をサポートする立命館ならではの支援の形としてスタートした本基金は、累計額が3億円に到達しました。今後も未来人財育成基金の取り組みを広げてまいります。

校友会未来人財育成基金の実績  
(2022年10月15日時点)

4,845の個人・団体・法人から 302,574,669円

お問い合わせ先(受付時間 土日祝を除く 9:30~17:00)

校友会未来人財育成基金に関しては  
立命館大学校友会事務局  
075-813-8216

寄付の受け入れ、税制上の優遇措置に関しては  
立命館 総務部 寄付事務局  
075-813-8110

WEBでの  
お申し込みは  
こちら!



https://alumni.ritsumeijp/gift/

「オール立命館  
校友の集い2022」  
参加者の声

オープニングの校歌を聞いた瞬間から、懐かしくなりました。立命館の卒業生として、これからも頑張る元気をもらえました。

中・四国、校友、20代

初めて参加しましたが有意義な時間でした。今後の学部選択や進路についても親子で話せる機会になりました。

関西、父母、50代

衣笠キャンパスの紹介は、長く離れたところに住んでいるOBとしては懐かしさと今の変化の両方が感じられて非常によかったです。

関東・甲信越、校友、60代

## 復興のその先へ 東日本大震災 被災地はいま。

～復興リレーメッセージ 第8回 宮城県～

2011年3月11日の東日本大震災から11年がたちました。立命館大学校友会の東日本大震災被災地復興支援の活動は2020年3月をもって一つの区切りを迎えましたが、震災の記憶を風化させないために、“被災地のいま”を各校友会からお届けします。



職場からの風景 手前が旧門脇小学校 その向こうが石巻南浜津波復興祈念公園

先日、京都の古い寺院の魅力について知人と話す機会がありました。知人はその魅力として、自分自身が歳月を経て変化したとしても、古い建築物は変わらない姿でそこに存在し、私たちを迎えてくれる安心感がある、と。そして、かつての自分と現在の自分を相対化してくれる存在でもあると言いました。母校立命館大学も私にとってそんな存在です。普段は意識していなくても、人生のふとした瞬間に存在感を示してくれる、心のよりどころ、古里的な存在です。現在、私は石巻市の日和山という丘陵地にある職場に勤務しています。ここからは石巻湾が一望でき、6mを超える津波で更地となった後に整備された石巻南浜津波復興祈念公園や、津波の後、火災が3日間続き全焼した門脇小学校(震災遺構)を見ることが出来ます。時折、職場の窓からその風景を見下ろすとき、震災からの時の流れ、立命館大学校友会からの多大なる支援のことを思い返します。

立命館大学宮城県校友会  
会計幹事 中澤輝博(91産社)

## 会報と大学・校友会の最新ニュースをメールでお届けします!

年3回

校友会報「りつめい」

会報メール配信サービス登録受付中! /



校友会報「りつめい」最新号をメールでの受け取りに変更しませんか?

ご登録いただくと、PDFまたはデジタルブックでご覧いただけます。

本サービスに登録されますと、現在会報をお届けしているご住所への郵送はされません。ご了承ください。

- お申し込みのタイミングによっては、次々号の会報からの配信となる可能性があります。
- 会報のお届け(郵送や本サービスによるメール配信)は、立命館大学校友会の終身会費30,000円をお納めいただいている方に限ります。

月1回

立命館 Beyond Borders NEWS

メールアドレスをご登録ください /



※月1回程度  
(年12回程度)配信

立命館 Beyond Borders NEWSとは?

- 立命館大学の教育・研究や学生に関わる最新ニュース、イベントやセミナーのご案内、校友会のイベント情報などをお届けします。
- 校友会にメールアドレスをご登録いただいている皆さまに、月1回程度メールで配信します。(既に立命館 Beyond Borders NEWSが届いている方は、新たな手続きは不要です。)

各種お手続きは、右記のご連絡先変更フォームから ●メールアドレスの登録・変更 ●会報受け取り方法の変更 など

お手続き方法

ご連絡先変更フォームにて、必要事項をご入力の上、「立命館からのご案内について」の欄でご希望の内容を選択してください。

- ▶校友会報「りつめい」をメールで受け取るなら……  
【会報のお届けについて】→「メールでの送付を希望する(現住所メールアドレス宛)」を選択してください。
- ▶立命館 Beyond Borders NEWSを受け取るなら……  
【メールニュース・各種ご案内について】→「案内を希望する」を選択してください。

<https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/>



TOPICS  
01

## 第167回芥川賞 立命館大学卒業生の高瀬隼子さん(11文)が受賞



7月20日、第167回芥川龍之介賞(日本文学振興会主催)の選考会が開催され、本学文学部を2011年に卒業された高瀬隼子さんの「おいしいごはんが食べられますように」(『群像』2022年1月号掲載、単行本・2022年3月22日 講談社発行)が選ばれました。高瀬さんは、2019年に『犬のかたちをしているもの』で第43回すばる文学賞を受賞し、作家デビュー。2021年には『水たまりで息をする』が、第165回芥川賞にノミネートされ、2度目の候補作で受賞を果たしました。

高瀬隼子さん「おいしいごはんが食べられますように」  
(『群像』2022年1月号掲載、単行本・2022年3月22日 講談社発行)



© 嶋田礼奈 / 講談社

高瀬隼子さんの  
コメント

このたび、『おいしいごはんが食べられますように』という小説で、第167回芥川龍之介賞を受賞いたしました。わたしは、大学在学時に所属していた立命文芸創作同好会の友だちと、大学卒業後も文芸同人サークルの活動を続けてきました。小説は1人でも書き続けていたに違いないのですが、作品の更新に自覚的でいられたのは、立命館時代からの友だちのおかげです。大学で出会えた友だち、先生方、哲学専攻での学びや、あの場で得られた経験の全てに感謝しております。ありがとうございました。

TOPICS  
02

## 創立者 中川小十郎の顕彰碑が建立されました

5月19日、特定非営利活動法人中川小十郎顕彰会(理事長山脇安三氏・'70産社)・立命館大学校友会亀岡校友会(会長中川茂雄氏・'65経営)が亀岡に中川小十郎の顕彰碑を建立、記念式典・除幕式が開催されました。

中川小十郎は、現在の亀岡市馬路町に生まれ、志ある若者たちが昼間働き、夜間に学ぶことができる「私立京都法政学校」を1900年5月19日に創立。その後、西園寺公望から「立命館」の名称を受け継ぎ、初代総長として立命館の発展に尽力しました。

中川小十郎の功績を後世に伝えるため、10年以上にわたり活動を続けてきた中川小十郎顕彰会・亀岡校友会は、このたび、多くの人が集まる亀岡駅北1号公園入口に顕彰碑を建立しました。式には、古川博規・京都府副知事や桂川孝裕・亀岡市長など約110名が集まり、顕彰碑の建立を祝いました。



上：中川小十郎 顕彰碑、下：除幕式の様子

[2022 JUNE~OCTOBER]

最新情報は  
こちらを  
チェック!



キャンパストピックス

[2022 JUNE~OCTOBER]

最新情報は  
こちらを  
チェック!



## SPORTS

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

### 女子陸上競技部 ①

6月9～12日、「第106回日本陸上競技選手権大会」が行われ、女子400mハードル決勝で山本亜美選手(スポ健2)が日本歴代6位となる56秒38で大会2連覇を達成しました。

また、10月1・2日、リレー競技日本一を決める「第106回日本陸上競技選手権大会・リレー競技」の女子4x400mリレーにおいて、今シーズン単独チーム日本最高タイムを更新する3分37秒85の好タイムで見事優勝を飾りました。

世界の舞台では、8月5日、コロンビアで開催された「カリ2022 U20世界陸上競技選手権大会」の女子10000m競歩にて、女子陸上競技部の柳井綾音選手(食マネ1)が46分43秒07で銅メダルを獲得しました。

### 男子陸上競技部 ②

9月9～11日に開催された「第91回日本学生陸上競技対校選手権大会」において、男子十種競技で川元莉々輝選手(食マネ3)が昨年に続いて大会2連覇を果たしました。

### バトントワリング部 ③

8月2～7日、イタリア・トリノで開催された「第35回世界バトントワリング選手権大会」フリースタイル個人男子ジュニアの部で、バトントワリング部の田和聖也選手(経済2)が優勝を果たしました。

### トライアスロン部 ④

9月9・10日、ブラジルで開催された「FISU世界学生トライアスロン選手権」にトライアスロン部の白石怜佳選手(食マネ3)が出場し、日本人最高位となる16位となりました。

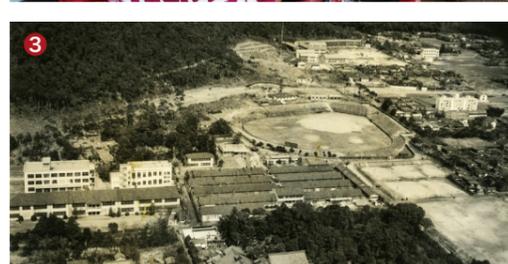
### 卓球部 ⑤

7月6～9日、スカイホール豊田(愛知県)で開催された「第91回全日本大学総合卓球選手権大会」団体の部で卓球部の女子が14年ぶり2度目の準優勝を果たしました。また、田村美佳選手(法3)が、女子プロ卓球チーム「京都カグヤライズ」の2022-2023シーズンの所属選手として登録され、9月から開幕した卓球のTリーグに参戦しています。

## ウクライナからの留学生を迎えるセレモニーおよび交流会を開催 ①

8月3日、ウクライナからの留学生の来日を受け、セレモニーおよび交流会を衣笠キャンパスで開催しました。当日は、ウクライナから非正規留学生として受け入れる学生の日本への渡航費や日本滞在期間中の生活費など、多大な支援をいただく分林保弘氏(株式

会社日本M&Aセンター取締役会長・創業者)、森島朋三理事長、仲谷善雄学長をはじめ、立命館の学生・生徒17名が、留学生を迎えました。



## 国家公務員総合職試験 合格者数63名で西日本私大1位に

6月20日、2022年度春の国家公務員総合職試験の最終合格者が人事院より発表され、立命館大学から過去最多となる63名が合格。合格者数で全国7位、西日本の私立大学で1位となりました。立命館大学では、学生の多様な希望進路や学習の進度などに合わせ、公務員試験対策などさまざまなサポートを展開しています。

## 楽天生命パーク宮城にて「立命館大学デー」開催 ②

7月16日、立命館大学と立命館大学校友会は、楽天生命パーク宮城にて開催された「東北楽天ゴールデンイーグルス vs オリックス・バファローズ」の試合を「立命館大学デー」と称し、冠協賛デーを実施しました。楽天生命パーク宮城における大学による冠協賛試合は初めてです。東北楽天ゴールデンイーグルス・辰巳涼介選手('19産社)は7番センターで先発出場、7対3で見事、東北楽天ゴールデンイーグルスが勝利を収めました。楽天生命パーク宮城には、校友・在学生・保護者・教職員など、総勢約450名の立命館ファミリーが集いました。

## 立命館衣笠球場跡が「日本野球聖地・名所150選」に認定 ③

7月19日、立命館大学にかつて存在した「立命館衣笠球場」が、野球伝来150年記念事業「日本野球聖地・名所150選」において、聖地・名所として認定されました。

写真：月刊陸上競技

## 就任

鈴木知史氏(84 経済)  
京都御池地下街株式会社代表取締役社長

橋本好哲氏(85 産社)  
大和ハウス工業株式会社常勤監査役

永瀬俊哉氏(87 産社)  
大和ハウス工業株式会社  
取締役常務執行役員

高津知仁氏(91 法)  
株式会社滋賀銀行執行役員

福田尚弘氏(91 経営)  
株式会社エヌジェイホールディングス  
代表取締役社長

阿部大洋氏(01 経営)  
日東電気株式会社代表取締役社長

平山彩子氏(07 文)  
株式会社 MERY 執行役員 CCO

福田拓哉氏(13 院経営)  
熊本バスケットボール株式会社  
代表取締役社長

## 当選

川合孝典氏(87 法)  
参議院議員選挙

天畠大輔氏(19 院先端)  
参議院議員選挙

## 訃報

百田丈二氏(49 専文)  
立命館大学名誉教授(文学部)

道端進氏(53 経済)  
元学校法人立命館理事・評議員、  
立命館大学校友会顧問

辻村寛氏(53 理工)  
立命館大学名誉教授(理工学部)

田村悦一氏  
立命館大学名誉教授  
(法学部、政策科学部)

片岡幸彦氏  
元立命館大学国際関係学部教授

田口富久治氏  
元立命館大学政策科学部教授

## BOOKS (ご著書のご寄贈)

校友会へご寄贈いただきましたご著書の中から一部をご紹介します。

◆渡辺峻氏 著  
『立命館の一隅から 経営学の研究・講義・ゼミ・学会』  
図書出版文理閣 1,760円(税込)

◆川村匡由氏(69 文)著  
『人生100年時代のニュー・ライフスタイル』  
あけび書房株式会社 1,540円(税込)

◆岡田則男氏(71 文)訳  
『THE STORY OF A FAMILY  
IN HIROSHIMA THAT VANISHED』  
株式会社ウインかもがわ 1,100円(税込)

◆時岡洋一氏(82 文)著  
『四季のない京都 1978』  
株式会社明石書店 1,650円(税込)

◆遠藤ゆき氏(98 院文)著  
『恋するころ、旅するころ』  
株式会社ラグーナ出版 880円(税込)

◆富澤公子氏(04 院社会)著  
『幸福な老いを生きる 長寿と生涯発達を支える奄美の地域力』  
株式会社水曜社 2,530円(税込)

『長生きがしあわせな島(奄美) DVD付き』  
株式会社かもがわ出版 2,200円(税込)

◆西村仁氏(06 院経営)著  
『1冊で学ぶ材料・加工・図面の初歩』  
株式会社日経BP 2,970円(税込)

SNSなどで個人が気軽に情報発信をする時代。さまざまな意見や情報が飛び交う時代になったともいえる。長く情報発信側にいた私が気になるのは、皆さんがどんなメディアにアクセスして、何に注目し、どのように使っているのか。また、信頼するメディアは何なのかということ。ここ最近では学生の動向にも注目している。例えば、旅に出かけようとするとき。大半はTikTokやInstagramを見ていて気になるものがあれば、施設や企業の公式HPで確かめるのだという。そこで観光情報を得るときに信頼できるメディアを問うと、まずは公式HP。次にInstagram、口コミ、続いてTV、そして観光ガイドや雑誌なのだそう。この「リつめい」もどのようにして情報発信していくのか、考えること多し。(山岡祐子)

今年で50歳になるが、健康に留意して休日には京都御苑内をジョギングしている。自然豊かなコースを走り、定点観測していると季節によって草花や樹木の表情が変わっていき、移ろいゆく日本の四季の素晴らしさを感じることができる。ただ、最近では四季の風情が変わってきているようだ。季候の良い春や秋が短く感じられ、異常に暑く長い夏、スコールのような大雨を伴う梅雨。地球温暖化は、四季の移ろいを敏感に感じてきた日本人の感性にも影響を与えようである。SDGsの取り組みもなされているが、われわれの行動様式が未来を形作ることになるだろう。50年後、100年後も繊細な四季の素晴らしさを感じられる日本であってほしいと願うばかりである。(森)

世界的な新型コロナウイルス感染症のまん延が始まって、もう3年近くがたちます。夏の間の第7波が収まって終息に向かうのかと思いきや、甘い予想はやめた方がよさそうです。屋外ではマスクは不要とはいっても、感染が再拡大している海外の動向や、特に冬の間はしばらく聞かなかったインフルエンザの流行と重なるなど、気を緩めるのは得策ではないように思えます。すぐに入試の季節がやってきますが、受験生が、その時々々の政府の方針に振り回されることなく、集中して試験に臨み、無事に新入生となることを願ってやみません。そして、4月からは充実したキャンパスライフを過ごして、多くを学び、生涯の友人にも巡り会えるよう祈ります。

(日下部和弘)

本を読むことが好きで、新書だけでなく、古書店で古本を購入するのも楽しみの一つです。先日、神田神保町で買った古本の中に、面白いものを見つけました。一つはレシートです。この本を新書で購入した方のレシートが残っており、15年前の日付で、他にも4冊の本を購入されていました。本のタイトルから好みのジャンルが分かります。またもう一つの本には、美術館の入場券が挟まっていました。美術館からの帰りの電車の中で読まれたのか、もしかしたら美術館の中の静かな喫茶店で読まれたのかなと想像を膨らませました。こうした私物を取り除かないのも古書店主の想いなのかもしれません。これから寒さも本番になりますので、皆さまどうぞご自愛ください。(西村仁)

## 編集室から



古本を活用した新たな支援のかたちです

# BOOKS FOR BOOKS

## ～立命館の本活～

2013年4月から2022年10月末までに  
**7,377名**の方から**343,794冊**の本をお送りいただきました。

誠にありがとうございます。  
引き続き、校友の皆さまのご協力を  
よろしくお願い申し上げます。



どのような仕組みですか？



以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

- ISBNのない本 ※バーコードの有無は関係ありません。
- 百科事典 ● コンビニコミック ● 個人出版の本 ● マンガ雑誌 ● 一般雑誌
- 同タイトル11点以上 ● シングルCD ● 投票券等特典付きCD

## コンビニで証明書が発行可能になりました

立命館大学は、1990年4月以降の卒業生を対象として、一部証明書をコンビニエンスストアで発行・印刷できるサービスを開始しました。

(日本国内のセブン-イレブン、ローソン、ファミリーマートが対象)



### 手順

- 1 右記のWEBサイトから利用を申請(初回のみ)。  
https://crt.ritsumeai.ac.jp/Student/ja-JP/Account/Login?Graduated=True  
本人確認書類の画像データが必要です。  
2回目以降は、利用申請は不要です。
- 2 利用申請の承認後、通知メールが届き、申請WEBサイトへログイン。
- 3 メニュー画面から、受取方法で「コンビニ発行」を選択。
- 4 必要な証明書の種類と支払い方法\*を選択。  
※コンビニ決済とクレジットカード決済が利用可能。
- 5 選択したコンビニのマルチコピー機で証明書を発行・印刷。



### コンビニで発行できる証明書

- 卒業・修了証明書
- 退学証明書
- 成績証明書
- 非正規生証明書
- 在学期間証明書

### 料金

- 証明書発行手数料300円/1通
- システム利用手数料250円/1回の申請
- マルチコピー機のプリント料金20円/1枚

手続きの詳細、また1990年3月以前に卒業された方の証明書申込については右記のWEBサイトをご覧ください。

利用申請に関するお問い合わせ先  
**立命館大学衣笠学びステーション** TEL:075-465-7877(平日9:00~17:00)

https://alumni.ritsumeai.jp/procedure/info/

